

markscanに読む前に、画像を二値化する

- markscanでは「しきい値」のスライダーで、グレースケール画像を白黒画像に切り分ける、しきい値を設定します。しかし、設定がうまくいっているのかわかりません。
- このソフトでは、しきい値にたいする二値化の様子をリアルタイムで見ながら画像を二値化していくことができます。
- 複数選択可能です。作成したファイルは、ソフトと同じ場所に保存されます。

使い方

- 右上の**Download ZIP**ボタンから、ファイルをダウンロードし、解答してください。
- dist フォルダの中のソフト**markscan_bw**を、ダブルクリックで起動してください。
 - bwは、ブラックホワイトのつもりです...
- **ファイルを選択**から、マークシート画像を選択してください。複数選択も可能です。
- 右端の印がしっかりと見えるようなしきい値を、スライダーで設定してください。
- 保存ボタンを押すと、フォルダと同じ場所に**bw**というフォルダが作成され、その中に画像が作成されます。
- あとは使用しやすい場所にbwフォルダを移動してから、markscanで読み取ってください。しきい値は、150くらいでよいはず。

参考にしたサイト

- [Python tkinter / リアルタイム2値化アプリを作ってみた](#)
 - こちらのサイトで紹介されているスクリプトを、日本語対応・複数ファイル対応させて、pyinstallerでexe化しました。
- [Python OpenCV で日本語を含むパス及びファイルが読み取れない問題](#)